

第2回日本食品衛生学会 東海・北陸ブロック公開講演会

日本食品衛生学会東海・北陸ブロックでは地域における学会の活性化を目的として、昨年度から独自の公開講演会を実施致しております。会員相互の情報交換の場としてはもちろん、食品衛生に関心をお持ちの一般の方々に日本食品衛生学会を知って頂くために、公開講演会という開催形式をとらせて頂いております。第2回となる今回は、カビ毒分析研究でご活躍の中島正博先生(名古屋市衛生研究所)と、HACCP システムを基本とした安全性向上のために、食品分析技術、品質評価法ならびに食品安全ハザードのコントロール手段について研究されている荒木恵美子先生(東海大学)にご講演頂くことになっていきます。ご関心のある方々のご来場をお待ちしております。なお、講演会後には、ご来場の皆様が気軽に講師の先生方に質問したり、学会についての問合せや、会員間の情報交換ができるよう、交流会の時間を設けさせて頂きました。お茶とお菓子程度ですが用意を致しますので、是非こちらもご参加下さい。

主催：公益社団法人日本食品衛生学会 東海・北陸ブロック

共催：中部大学応用生物学部

開催日時：3月30日(金) 13:30-17:00

開催場所：中部大学名古屋キャンパス 6階大ホール

(〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田 5-14-22

JR 中央線鶴舞駅名大病院口(北口) すぐ)

プログラム

13:30-13:35 開会挨拶

13:35-14:30 講演 1

カビはヒトにとって良いものか、悪いものか？

中島正博 (名古屋市衛生研究所)

14:30-14:45 休憩

14:45-16:00 講演 2

HACCP は常識的 ~それを支える科学~

荒木恵美子 (東海大学)

16:00-16:05 閉会挨拶

16:05-17:00 交流会

参加費：無料 (会員・非会員を問いません)

お問い合わせ先

〒487-8501 愛知県春日井市松本町 1200 中部大学応用生物学部 堤内 要
Tel: 0568-51-6295 Fax: 0568-52-6594 e-mail: tsutsu@isc.chubu.ac.jp

ご参加頂ける方は事前にご連絡頂けますと助かります。もちろん、当日のご参加も歓迎です。

